



評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)介護老人保健施設フォーシーズン南34条	階数	地上3F
建設地	札幌市南区南34条西10丁目454-168、478-14、-18、-25	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	80 人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年9月1日
敷地面積	2,249 m ²	作成者	
建築面積	1,348 m ²	確認日	
延床面積	3,936 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.3**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.5**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.2**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.6**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.9**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.0**

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>周辺建物・環境との調和を考慮し、建物高さも最小限に抑えた。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>断熱性を強化し、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。</p>
<p>B 省資源等</p> <p>分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようになっている。 (節水型便器や自動水栓を採用し、水資源の保護に努めている。)</p>	<p>C 緑化</p> <p>敷地周辺・光庭に効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。</p>
	<p>D 雪処理</p> <p>ピロティ・駐車場・車寄せ・歩道・職員通路にロードヒーティングを取り入れ、排雪作業の軽減に努めている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される